

2025年3月18日

診療科長 医局長  
病棟医長 外来医長  
中央診療施設副部長 殿  
看護部長 看護師長  
事務部長

検査部 外注検査作業室

## 検査部回報 2025-No.9

# 外注検査内容変更のお知らせ

外注業者より、下記項目におきまして検査内容変更の連絡がありましたのでご案内いたします。

記

### < 変更項目 >

- ① TSHレセプター抗体定量（TRAb 定量）（第2世代）
- ② リポ蛋白（a）（Lp(a））/ラテックス凝集比濁法
- ③ フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコアファクター）
- ④ フォン・ウィルブランド因子定量（第Ⅷ因子様抗原）
- ⑤ ヒトパピローマウイルス DNA（ハイリスクグループ）

### < 変更日 >

2025年4月1日（火）受付分より

※次ページに詳細を示します。

※変更の内容ごとに見出しの記号を変えていますので、参考にしてください。

- ▲…基準値の変更
- …測定原理と基準値の変更
- …採取容器と基準値の変更

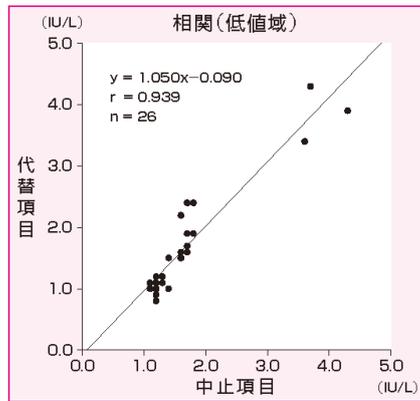
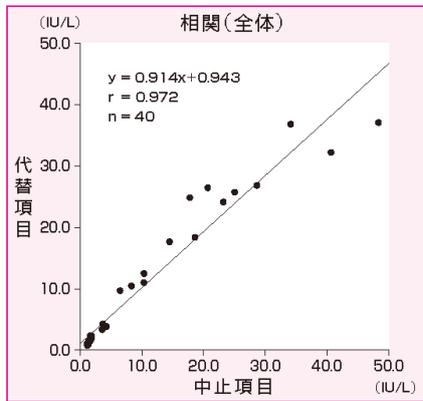
上記についてのお問い合わせは、外注検査作業室（内線 7254）までお願い致します。

## ■TSHレセプター抗体定量（TRAb 定量）（第2世代）

測定原理、基準値が変更になります。

	旧	新
測定原理	RRA 法	ECLIA 法
基準値	1.0 未満	2.0 未満 (未治療バセドウ病診断の至適カットオフ値として)
備考	リコンビナント・ヒト TSHレセプターを使用。	抗 TRAb モノクローナル抗体 (M22) を使用。ビオチンを投与している患者 (1日の投与量 5mg 以上) からの採血は、投与後、少なくとも 8 時間以上経過してから実施してください。

### ▼現法と新法の比較（出典：BML）



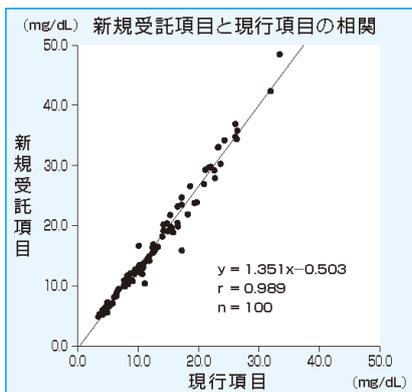
自社検討資料

## ■リポ蛋白 (a)

測定原理、基準値が変更になります。

	旧	新
測定原理	免疫比濁法	ラテックス凝集比濁法
基準値	40.0 以下	30.0 以下

### ▼現法と新法の比較（出典：BML）

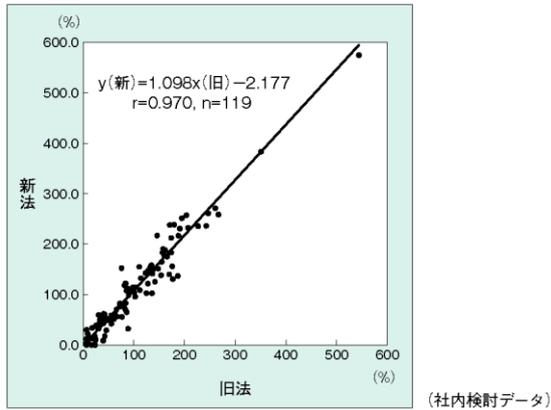


自社検討資料

■フォン・ウィルブランド因子活性（リストセチンコアファクター）---  
測定原理、基準値が変更になります。

	旧	新
測定原理	固定血小板凝集法	ラテックス凝集比濁法
基準値	50~150%	血液型 O 型 48.2~201.9% 血液型 A,B,AB 型 60.8~239.8%
備考		リウマチ因子が高値（100IU/mL 以上）の場合は測定値が高値傾向となりますので、ご注意ください。

▼現法と新法の比較（出典：LSI）



▲フォン・ウィルブランド因子定量（第Ⅷ因子様抗原）-----  
基準値が変更になります。

	旧	新
基準値	50~150%	血液型 O 型 42.0~140.8% 血液型 A,B,AB 型 66.1~176.3%

●ヒトパピローマウイルス DNA（ハイリスクグループ）-----  
委託会社変更により、基準値と採取容器が変更になります。

	旧	新
委託会社	SRL	BML
採取容器	SRL-V60 	HPV-2 
基準値	陰性	判定：検出せず インデックス：1.00 未満